

# 電気こどもシリーズ

## どう変わった? 電気製品とくらし

暑い夏にエアコンのきいた涼しい部屋で、  
冷蔵庫から取り出した冷たい麦茶をゴクリ!

こうしたことができるのも、電気製品が大かつやくしているから。

電気製品がいつごろから使われだして、

くらしはどう変わってきたかをふり返ってみよう!

1872年 明治1年  
1881年 明治10年  
1885年 明治14年  
1900年 大正9年  
1920年 昭和5年  
1925年 大正14年  
1930年 昭和10年



## みんなの? おたよりコーナー

愛知県名古屋市立神の倉小学校6年生のお友達からおたよりが届いたよ。  
「砂時計や日時計は知っていたけれど、そのほかにいろんな種類の時計がたくさんあるのにはビックリしました。」

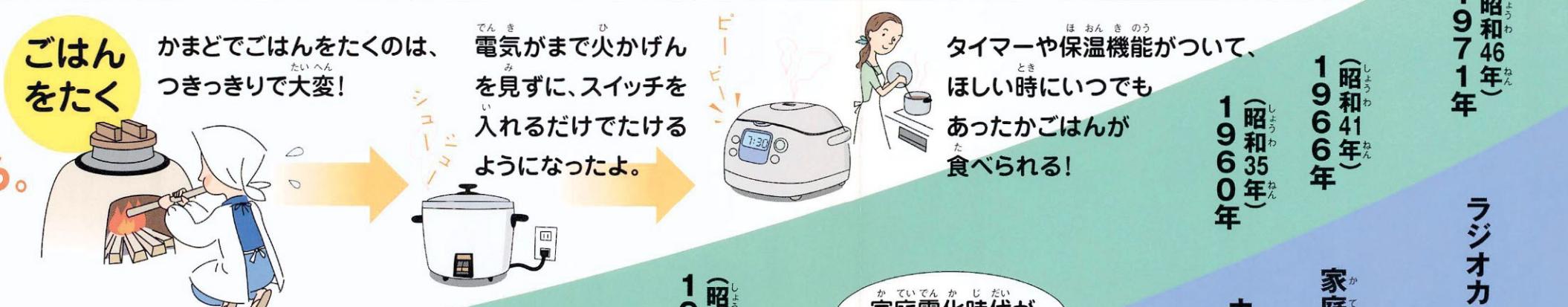
水や火を使って時間をはかる時計もあったね。どの時計もよくしくみを考えられてるには心感したよ。ところで、みんなの家にはいくつぐらい時計があるかな?電気製品についているタイマーなどもあわせると、きっと考えているよりずっと多いと思うよ。

「電気こどもシリーズ」では、今回の特集についての感想や「~について特集してほしい」といった希望などを募集しているので、どしどし送ってね。おもしろいおたよりを送ってくれた中から何人かのお友達に「手回し発電機」を送ります。

## 電気製品でらくになった

昔の人たちにとって、家の仕事は本当に大変だったよ。

電気製品のおかげで家の仕事がらくになって、時間にゆとりができたんだ。



## どちらが正解クイズ

問題 カラーテレビ放送が始まったのはいつ?

答え ①1925年 ②1960年

●正しく答えた人の中からくじ引きで50名に「図書カード」をプレゼントします。

### 「クイズ」や「おたより」の申しこみ方法

●「クイズの答え」や「おたより」(どちらか一つでもいいよ!)とともに次の

①~⑤を記入して送ってね。

①学校名 ②年齢 ③名前 ④学校の住所と郵便番号 ⑤感想

●〆切:8月25日 ●賞品は9月15日までに校長先生あてに送ります。

はがきのあて先...〒461-8680 中部電力 電気こどもシリーズ係

インターネットからも申しこめよ!  
<http://www.chuden.co.jp/nk/codomo/>

http://www.chuden.co.jp/nk/codomo/

ホームページでは、「電気製品とくらし」についてもっとくわしくしゃかいしているよ。  
今までのこどもシリーズの特集も見られるよ。ぜひ、ホームページを見てね!

第593号は

家電とくらし号

平成15年7月1日発行

発行所/電気こどもシリーズ係  
名古屋市東区東新町1番地(〒461-8680)  
中部電力株式会社・広報部  
●電話/052-951-8211(代表)



## 電気製品で くらしに楽しさが生まれた

ラジオやテレビ、テレビゲーム、パソコンなど、電気製品  
は便利なだけじゃなく、くらしを楽しくしてくれるね。

さらに、外出先でけい

帯電話から家の冷蔵庫の

なかをチェックできるなど

の「情報家電」の開発も

進んでいるよ。電気製品のお

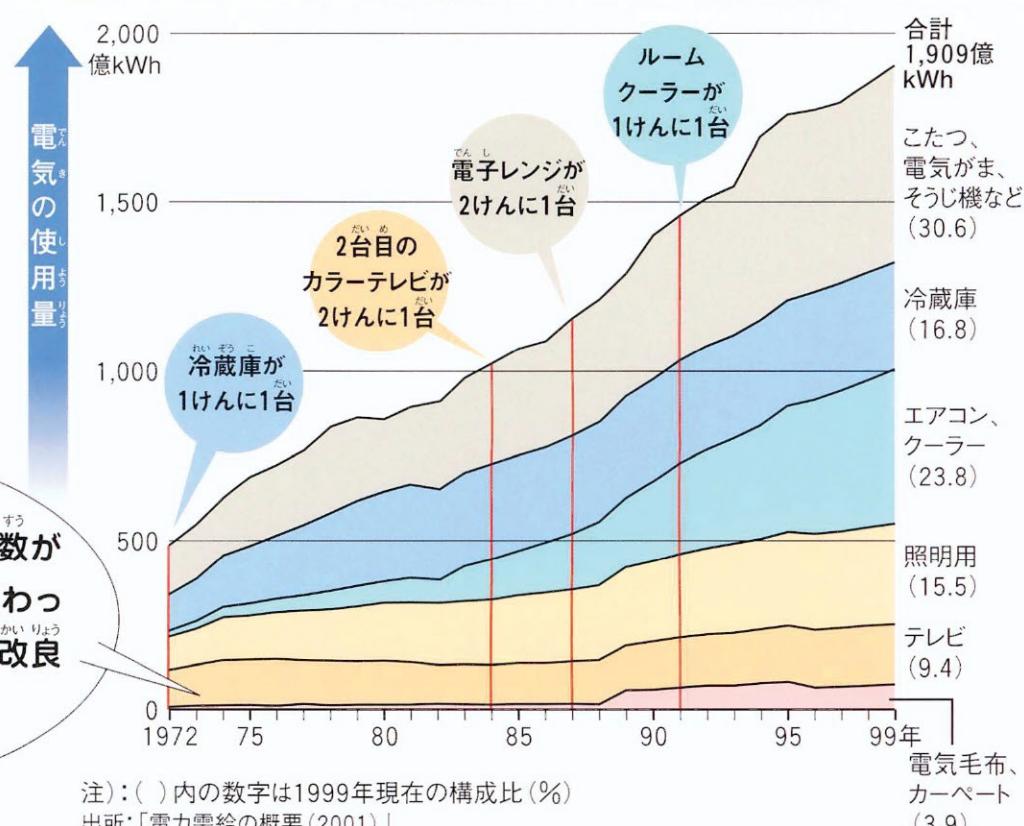
かげで、くらしやすくなるね!



## 電気を大切に使おう!

電気製品で、みんなのくらしは豊かになったね。電気の使  
用量もどんどん伸びているよ。電気は大切なエネルギー  
なので、できるだけムダに使わないようにしたいね。例え  
ば、冷蔵庫の開けっぱなしをやめる、テレビのつけっぱな  
しをやめるなど、電気を大切に使う方法を考えてみてね。

## 家庭で使われる電気の伸びと内容



「総合的な学習の時間」を中心とした、みんなの学校活動の様子を探検します。

岐阜県岐阜市立 梅林小学校

岐阜市  
総合的な学習の時間は「梅っ子タイム」と呼んで、学  
年ごとに地域のくらしに関するテーマに取り組んでいる  
梅林小学校。6年生のテーマは「福祉」についてです。

「ひとにやさしい梅林のまち」のために、まず体の不  
自由な人やお年寄りの身になって考えよう  
と、車いすやマントで校舎内を動き回って  
みました。すると、小さな段差や、荷物などで  
せまくなつた場所は車いすで通りづらいとわ  
かりました。また、目かくして階段を上り下り

したり、マットの上などを歩くのは、とてもこわいと思  
いました。

そこで、地域に住む体の不自由な人に話を聞くと、  
大変な乗りこえて元気に生活していることがわかった  
のです。お話をあとには「すごくがんばって  
いる!」と思い、わたしたちがはげまされた  
気がしました。体が不自由な人を助けてあ  
げる所以なく、おたがいに助け合い、共に  
がんばることが大切だとわかりました。



「スクール探検隊」  
次は君たちの学校だよ!  
探検する学校をさがして  
います。君たちの学校の  
活動をしようかしいですね。  
ホームページがあれば、  
アドレスを教えてね。